

試合番号 : 192	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 380		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:44	試合時間 : 01:44		
主審 : 澤 達大	副審 : 中山 健			
<b>VC長野トライデンツ</b>	通算 2勝 15敗 ポイント : 9	25 第1セット 18	<b>FC東京</b>	通算 6勝 11敗 ポイント : 19
<b>監督コメント</b> 年明け初のホームゲームでした。多くの皆様コロナ禍の中でご尽力いただき本当にありがとうございます。その中で勝利し、3ポイントを取れたのは非常に良かったです。明日も勝利できるように気持ちを切り替えて挑みます。会場に足を運んで応援してください皆様、本当にありがとうございました。明日も応援よろしくお願いします。	3	25 第2セット 23	0	<b>監督コメント</b> 今日はVC長野のサイドアウトを崩し切ることができなかったこと、また我々のアタックの数字を中々上げることができなかったことが、敗因であると思います。明日も厳しい試合が続きますが、しっかりと立て直して勝利をおさめたいと思います。本日も応援ありがとうございました。
		25 第3セット 22		
		第4セット		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> 両チーム共にミスの少ない好ゲームだったが、気合いと勢いで勝るVC長野トライデンツがセットカウント3-0で勝利した。第1セット中盤、VC長野はリヴァンのアタック、ブロック等で7連続得点をあげ試合を優位に進めた。FC東京は16-20の場面でプレモビッチを投入したが点差は縮まらず、VC長野がセットを先取した。第2セット序盤、VC長野はセッター河東がトスを散らし、笠利、戸崎のアタックで得点を重ねた。FC東京はプレモビッチのアタック、黒田の時間差等で23-23に追いつくが、VC長野が振り切りセットを取った。第3セット、VC長野は笠利のアタック、ブロック、サーブで6-2とリードした。終盤、FC東京は栗山の速攻、プレモビッチ、手塚のアタックで追いつくが、VC長野はリヴァンが要所で決め、このセットも取りホームゲームで嬉しい2勝目をあげた。				

試合番号 : 193	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 1,350		
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:25	試合時間 : 01:25		
主審 : 戸川 太輔	副審 : 城 智人			
<b>ウルブドッグス名古屋</b>	通算 14勝 4敗 ポイント : 41	25 第1セット 18	<b>ジェイテクトSTINGS</b>	通算 10勝 8敗 ポイント : 27
<b>監督コメント</b> シーズン後半戦になり、データが多く蓄積されてきました。その中で闘いでしたので、とても高いレベルの試合となりました。これから試合においても選手一人一人が少しずつ成長しながら、チームとして力をつけていきたいと思っています。蓄積されたデータを分析し、選手やチームに何がもたらせるのかを日々考えながら精進します。「光と音」に優れたここ豊田合成記念体育館「エントリオ」で試合ができたことを本当にうれしく思います。全てのサポートしていただいた皆さまに感謝しております。皆さまにとってより良い日が来ることを心より祈っております。Best Day Ever!	3	25 第2セット 22	0	<b>監督コメント</b> 非常に悔しい連敗となりました。昨日に引き続きウルブドッグスの高エースを抑えることができませんでした。チームは今苦しい状況ですが、この状況をチーム全員で乗り越え、チームとしてステップアップできるよう、取り組んでまいります。福沢大会の2日間、たくさんの応援ありがとうございました。今後ともよろしく願います。
		25 第3セット 13		
		第4セット		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> ウルブドッグス名古屋のホームでのジェイテクトSTINGSとの愛知ダービー2連戦、2日目の試合はWD名古屋が勝利した。第1セット、ジェイテクトは福山、鏡、西田が3本連続でアタックを決めリードしてスタートするが、WD名古屋もクレクがアタックを決め徐々に追いつく。前田がサーブに回るとサービスエースなどで5連続得点して逆転し4点リードする。その後クレク、高梨のアタックなどで得点を重ね、リードを保ってWD名古屋がセットを奪った。第2セット、出だしは競ったスタートとなったが、WD名古屋は山田のサーブから山近がジェイテクトの速攻をブロックするとリズムに乗り連続得点し、4点のリードをつくる。ジェイテクトは藤中に代わって入った都が5本のアタックを決め、西田も後半連続でアタックを決めるなど追いつけず、WD名古屋がセットを連取した。第3セット、1点を取り合うスタートとなり、競った展開になるかと思われたが、WD名古屋は第2セットに続き山田がサーブに回るとジェイテクトのリズムを崩し、5連続得点で一気に主導権を握る。ジェイテクトも西田、フェリベラの攻撃陣が反撃をするが、WD名古屋の勢いを止めることはできず、最後も高梨のアタック、クレクのアタックとブロックの4連続得点でセットを取り、勝利した。				

試合番号 : 194	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 0		
開始時間 : 14:05	終了時間 : 15:21	試合時間 : 01:16		
主審 : 江下 毅	副審 : 山本 和良			
<b>パナソニックパンサーズ</b>	通算 14勝 3敗 ポイント : 40	25 第1セット 19	<b>JTサンダース広島</b>	通算 8勝 9敗 ポイント : 27
<b>監督コメント</b> 昨日の時点で試合が開催されるかわからず不安でしたが、今日試合ができたことは感謝の気持ちしかありません。また、今シーズン一番いい試合ができ、大事な試合だったので勝利をつかめたことは非常に嬉しいです。明日もモトマッチになります。ご声援よろしくお願いします。	3	25 第2セット 16	0	<b>監督コメント</b> サーブで押され、ミスにはならないものの攻撃が単調になり、サンダースのバレーをさせてもらえませんでした。明日はすべてのプレーにアグレッシブにチャレンジして戦いたいと思います。ご声援よろしくお願いします。
		25 第3セット 13		
		第4セット		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> 現在2位のパナソニックパンサーズと5位のJTサンダース広島の対戦は、セットカウント3-0でパナソニックが勝利した。前回対戦の借りを返したいJT広島は、第1セット序盤からエドガーにボールを集め、得点を重ねた。対するパナソニックは、深津の安定したトスワークで、JT広島のブロッカーに的を絞らせず、一進一退の攻防が繰り返された。中盤、清水の連続得点で抜け出すと、そのリードを保ったままパナソニックがセットを奪った。第2セット以降に入ってもパナソニックの勢いは止まらない。JT広島は途中から武智を投入し、流れを引き戻そうと奮闘するも、パナソニック久原の緩急織り交ぜた攻撃、クビアクのパワーあふれるスパイクとまさに全員降ってJT広島を圧倒した。				

試合番号 : 195	試合会場 : このはなアリーナ (草薙総合運動場体育館)	観客数 : 750		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:51	試合時間 : 01:51		
主審 : 原 啓之	副審 : 村中 伸			
<b>東レアローズ</b>	通算 8勝 7敗 ポイント : 22	25 第1セット 21	<b>サントリーサンパーズ</b>	通算 13勝 2敗 ポイント : 37
<b>監督コメント</b> コロナ禍の中、会場まで足を運んでいただきありがとうございました。サントリーの攻撃を全くディフェンスできなかったのが、負けにつながったと思います。明日しっかりと修正して試合に臨みたいと思います。皆さんの応援ありがとうございました。	1	20 第2セット 25	3	<b>監督コメント</b> 今日の試合は予想通りハードなものとなりました。パダル選手の高いバワフルなアタックに何度も苦しめられましたが、試合の中でブロックとディフェンスが機能したことが勝因だと思います。また、上がったボールをムセルスキーに良い状態で打たせることができたことも、練習が実を結んでいたと思います。明日も東しが今日の試合に対してアジャストしてくると思いますが、サンパーズらしい戦いをして勝利をつかみ取りたいと思います。本日は会場に直接足を運んでくださったファンの方や、開催にあたりご尽力いただいた皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。引き続きサンパーズに熱いご声援よろしくお願いします。
		24 第3セット 26		
		22 第4セット 25		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> 今シーズン初対戦となる東レアローズとサントリーサンパーズの一戦。第1セット、序盤、東しは小澤、パダルのサービスエースや高橋のブロックで徐々にリードする。サントリーもムセルスキーと柳田が要所で得点したが、終盤、富田のサービスエースで勢いに乗った東しは、高橋や李のクイック攻撃で得点を重ね、セットを先取した。第2セット、序盤からリードしたサントリーは、ムセルスキーを中心とした攻撃に柳田、藤中も得点を重ね、セットを奪い返した。第3セット、互いに譲らず一進一退の攻防が続く。東しは小澤や李のサービスエースで同点に追いつき、勢いに乗ろうとするものの、サントリーはムセルスキーの高さのあるスパイクで得点を重ね、サントリーがセットを連取した。第4セットも終盤までどちらも1点ずつ得点を重ねる展開となるが、サントリーはムセルスキーと柳田の得点で一歩リードし、そのままこのセットを制し、勝利した。				

試合番号 : 196	試合会場 : このはなアリーナ (草薙総合運動場体育館)	観客数 : 400	
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:58	試合時間 : 01:58	
主審 : 林 淳一		副審 : 中西 幸治	
<b>堺ブレイザーズ</b> 通算 9勝 8敗 ポイント : 27	<b>大分三好ヴァイセアドラー</b> 通算 0勝 17敗 ポイント : 3	<b>3</b>	
<b>監督コメント</b> 大分三好のアグレッシブなサーブ、スパイクが非常に印象的でした。我々は安定したサイドアタック、サーブで攻めることができましたが、明日はさらにアグレッシブなプレーをして2連勝で終えたいと思います。応援してくれた皆様、ありがとうございました。明日も堺ブレイザーズへの応援よろしくお願ひします。	25 第1セット 17 20 第2セット 25 25 第3セット 21 25 第4セット 21 第5セット	<b>1</b> <b>監督コメント</b> 堺ブレイザーズの高さのある攻撃とサーブに苦しめられ敗戦となりましたが、各選手が自分の役割に集中しプレーしたことにエネルギーを感じることができました。本日の試合のエネルギーを明日の試合につなげ、勝利できるようにしっかり準備していきたいと思ひます。本日も応援ありがとうございました。	
	<b>要約レポート</b> ここで勝利し勝ち越したい堺ブレイザーズと、初勝利を飾りたい大分三好ヴァイセアドラーの一戦。第1セット、堺はジョンのサービスエースで勢いをつける。加えて関田のブロックで序盤の流れをつくった堺だが、大分三好もストックトン、バグナスの強烈なアタックで流れを戻して追いかける。大分三好もラリーをつなげるが、中盤以降は堺がジョンのサービスエース、アタックで得点を重ね、セットを先取した。第2セット、堺はジョンを軸として、鶴野が要所でアタックを決めていく。大分三好はストックトン、バグナスを多用しコート幅を広く使った攻め方を見せる。中盤に入り、大分三好が山田のブロックから流れを掴み、林やバグナスのアタックで点差を広げ、セットを取り返した。第3セット、どちらも譲らない展開が続いたが、堺は出栗、ジョンのアタックで点差をつける。大分三好も山田、バグナス、ストックトンの奮闘により差を詰めるが、堺は鶴野やジョンの勢いを活かし、セットを取った。第4セット、堺の鶴野や高野、大分三好のストックトンやバグナスにより、終盤まで接戦のまま打ち合う展開が続く。19-18の場面から堺はジョンのキレのあるバックアタックで流れを掴み、最後まで押し切り、セットカウント3-1で堺が勝利した。		

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :		副審 :
通算 -勝 -敗 ポイント : -	第1セット	通算 -勝 -敗 ポイント : -
<b>監督コメント</b>	第2セット	<b>監督コメント</b>
	第3セット	
	第4セット	
	第5セット	

<b>要約レポート</b>
---------------

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :		副審 :
通算 -勝 -敗 ポイント : -	第1セット	通算 -勝 -敗 ポイント : -
<b>監督コメント</b>	第2セット	<b>監督コメント</b>
	第3セット	
	第4セット	
	第5セット	

<b>要約レポート</b>
---------------

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :		副審 :
通算 -勝 -敗 ポイント : -	第1セット	通算 -勝 -敗 ポイント : -
<b>監督コメント</b>	第2セット	<b>監督コメント</b>
	第3セット	
	第4セット	
	第5セット	

<b>要約レポート</b>
---------------